



# 田崎学舎

㊦のしく ㊧わやか ㊨れいな 我らが学び舎

## 子らの幸せのために

校長 岩戸 淳

朝、正門前で一人一人の児童と「おはようございます。」のあいさつを交わしたり、授業での児童の様子を巡視したりしながら、いつも頭の片隅に思うことがあります。それは、端的に言うところ「この子らが大人になるころ、世の中はどうなっているのだろう。」ということだと思います。チャットGPTに象徴される著しい科学技術の進歩により、誰にも想像できない世の中が到来することは明らかです。そんな世の中を生き抜く、あるいは生き抜こうとする力を育むことが、今、教育に求められていることです。一方で、教育の営みには不変の部分も多いことは御理解いただけると思います。例えば、学校で児童に対して行う定期健康診断には、結核に係る問診調査や職員が役割を分担して実施する身体計測・視力検査・聴力検査をはじめ、検査機関に依頼して行う心電図検査・尿検査、学校医等に依頼して実施する内科検診・眼科検診・耳鼻科検診・歯科健診があります。いずれも、

学校保健安全法に基づく重要なものばかりで、検診結果に基づき、必要に応じて治療勧告を行なっています。保護者の皆様には、治療勧告が届きましたらそれを真摯に受け止めていただき、確実に治療させてください。健康が一番です。

学校と家庭は、「教育という車の両輪」です。走行不能に陥らないように、子らの幸せを願い、幸せな社会人に育てるために手をとり合ってまいりましょう。今年度の共通実践事項は左欄のとおりです。

学校教育目標	めざす子ども像		共通実践事項	
	【重点課題】			
自ら学び心豊かにたくましく生きる力を身に付けた田崎の子の育成	知 【自ら学ぶ子】 ○ 学び方が分かり、自ら学習する子	学	1	授業に対話活動の場を位置付ける。
		校	2	授業に振り返りの場を位置付ける。
	○ 対話的に学び、見方や考え方を深める子	家	1	ノーメディアのめあてを守らせる。
		庭	2	家庭学習時間の目安以上、学習させる。 (低:30-40分以上、中:50-60分以上、高:80-90分以上)
	徳 【心豊かな子】 ○ あいさつがよくできる子 ○ 人と力を合わせ、協働する子	学	1	「先犬見止」のあいさつ指導をする。 (先に、大きな声で、相手を見て、立ち止まって)
			校	2
家		1	「おうちで読書タイム」に取り組ませる。	
		庭	2	家族の一員として手伝いをさせ役立たせる。
体 【たくましい子】 ○ 最後まで頑張り抜く子 ○ 安全・健康の向上に努める子	学	1	なわとび運動の個人目標を設定させ、それを目指して挑戦(努力)させる。	
		校	2	自他の命を守るための安全指導を徹底する。
	家	1	1日20分以上の運動(競技による種別・年齢別等)をさせる。	
		庭	2	車道への飛び出しをさせない。